小泉秀雄氏採集ノ仙水峠產 *Cladonia al icola*（自然大）

外ノコトニむしごけ *Thamnolia vermicularis* ノ發生ガ極メテ貧弱デアリ、いはたけ類モアマリ繁茂シナイデ、發育不完全ノ *Umbilicaria caroliniana, Gyrophora anthracina, G. hyperborea* 等ガ岩面所々申譯的ニ附着シテ居ル。又高山地衣ノ一表徵タル *Cetraria chrysantha* TUCK. モ散見スルケレドモ「北アルプス」ノヤウニハ豐富デナイ。然シ特筆ニ値スルコトハ *Stereocaulon Wrightii* ノ有子器品ガ此處ニ多イ。コレハ昨年白馬天狗原ノ岩塊ヲ見付ケテカラ第二回目ノ發見デアル（本誌第 XII 卷第 806 頁參照）。又はひまつ地帶窪地ノ濕潤ナ岩上ニ苔ト混生スル *Coriscium viride* ヲ獲タ。第三回目ノ出會デアル)。第一回ハ秩父、第二回ハ白馬大池デアツタ（本誌第 X 卷第 8 頁、コレハ第 XII 卷第 804 頁參照)。又 *Buellia pulchella* ヲ少量採集シタ。此綺麗ナ高山性固着地衣ハ已ニ西駒ト立山トデ邦內ノ「フローラ」ニ編入サレタモノデアル（本誌第 V 卷第 321 頁參照)。其他多數ノ品目ニツキテハ他日調査ノ完了ヲ待ツテ公表スルコトニスル。　（朝比奈泰彥）

○えだうちちからしば

此處ニ掲グル寫眞ハ *Pennisetum orientale* RICHARD var. *triflorum* STAPF.（和名えだうちちからしば）ノ寫眞デ目下余ノ栽培中ノモノデアル。本品ハヒマラヤ、小亞細亞、北部

えだうちちからしば (*Pennisetum orientale* var. *triflorum*)

亞弗利加ノモノナルモ昭和4年11月8日橫濱市山手町ノ路傍ニテ認メ米國農務省技師禾本科ノ大家故 A. S. HITCHCOCK 氏ノ鑑定ニヨリ種名ノ判明シタモノデ其經緯ハ本田正次博士ニヨリ植物學雜誌第 XLVI 卷 p. 420 (歐文) p. 437 (和文) デ公表サレテ居ル。未ダ本邦ニ於テ他ニ採集サ　ザル植物デ恐ラク余及ビ余ガ分配シタルモノ以外存セザルベク、マタ本邦ニ於テハ結實セザルガ故ニ邦土ニ馴化スルニ至ラザルモノト信ズル。現在デハ小石川植物園及東京科學博物館ニ栽エラレテ居ルガ、何レ邪魔ニサレテ全滅サレルダラウカラ記念ニ其寫眞ヲ揭ゲタ。宿根性デ高サ1米突餘ニ達シ、莖ハ中部以下ヲ分枝シ、ちからしばニ比シ穗ガ細ク、全草斜上スル傾アリ。新種ヲ喜ブ通弊ヲ有スル邦人ニハ喜バレマイガ、然シ珍シイ草デアル。寫眞ハ本年9月初旬友人額田敏氏ガ撮ラレタモノナリ。(久内淸孝)

○せんぼんやりノ所屬ト學名

せんぼんやりト云フ菊科植物ハ、早春きじむしろヤしどみノ咲ク頃ニ、淡紅色ノ舌狀花ヲ有スル頭狀花ヲ抽デル植物デアリ、草地ヤ落葉樹ノ疎林ノ下ニ生エル草デアルガ、夏ヲ過ルト閉鎖花ノミヨリ成ル頭狀花ガ、幾本モ並ンデ出テ、其狀ガ恰モ、昔ノ諸侯ノ往來ニ用キタ鎗ノ立チ並ンダ樣ダト云フノニ見立テヽ、享保四年 (1719 年) 伊藤伊兵衞ガ廣益地錦抄卷之八ニ、千本鎗ノ名ヲ附ケテ圖說シタノデアル。此植物ハ近時 *Gerbera Anandria* SCHULTZ-BIPONTINUS ト云フ學名デ通ツテ居ツテ、誰モ疑問スラ持タヌ樣デアルガ、*Gerbera* ト云